

栄養、食、健康に関する投資家からの要望 (2021年10月和訳発行)

1. 前置き

機関投資家として、私たちは世界的な栄養危機が生じていることを認識しています。乱れた食生活は不十分な栄養状態をもたらし、死亡率および予防可能な非感染症疾患の増加を引き起こし、Covid-19などの感染症に罹患して死亡するリスクも高くなります。さらに、乱れた食生活および低栄養は、個人、社会、および経済に多大なコストをもたらすことから、飲食業界を中心とした幅広い業種で保有するポートフォリオや資産価値に、短期・中期、そして長期的に影響を与え得ることになります。

これらの傾向と影響を理解し、食品・飲料メーカーに係るリスクと機会を適切に管理しているかを精査する必要があります。一般に、飲食業界全体としては、農業生産者と加工業者、外食産業、レストランやカフェのチェーン店、製造業者と小売業者が含まれますが、「栄養、食、健康に関する投資家からの要望」では、後者2つ（つまり、製造業者と小売業者）のセグメントの企業への投資家からの働きかけ（エンゲージメント）に特化して作成されています。

この文書は、食品・飲料の製造業者および小売業者のコーポレートガバナンス、戦略、ロビー活動、および透明性に関連する投資家からの4つの要望を提示しています。この要望に賛同する私たち投資家は、それぞれの責任投資のスタイルに合わせて、その内容を企業分析および取締役員や経営陣との対話を行う際に利用します。また、投資対象となる各企業のビジネスモデルや新たなトレンドから受ける影響や対応度合に合わせて活用します。これらの要望を採用することにより、私たちは世界が直面している栄養の課題に取り組み、世界保健機関が掲げる栄養目標と2030年達成を目標とした持続可能な開発目標（SDGs）の実現に貢献するという、私たちのコミットメントを示すことを目指しています。

図表1. 持続可能な開発目標 (SDGs) 達成と密接な関係にある栄養



出典: 世界保健機関、Department for Nutrition and Health Development, 2018

II. 背景

図表1に示すように、栄養を改善するための包括的な行動は、SDGsの実現と食料システムの変革と密接に関わっています。持続可能な食糧システムとは、環境と生産者の生活を保護しながら持続可能な方法で管理されている土地から生産された、すべての人に健康的な食事を提供するシステムです。様々なショック（危機）への強靭性があります。しかし、現在の食料システムは健康的な食事を提供することができず、気候変動、生物多様性の喪失、水危機などの環境問題や社会問題を助長しています⁽¹⁾。投資家のサポートを受けながら、バリューチェーン全体における食品・飲料会社は、必要な変革をもたらす上で極めて重要な役割を担っています。

世界的な栄養課題の規模と性質

世界銀行によると、栄養不良は世界で最も深刻かつ最も対処されていない課題の1つとされています⁽²⁾。過体重と肥満、低栄養と微量栄養素(重要なビタミンおよびミネラル)の欠乏という3つの形態の栄養不良は、「栄養不良の3重苦」としてまとめて知られています⁽³⁾。すべての国が1つ以上の要素を課題として抱えており、一部の国は3つすべてに影響を受けています⁽⁴⁾。

貧しい食生活は現在、運動不足、アルコールおよび喫煙の合計よりも多くの病気を世界中で生み出しています⁽⁵⁾。

肥満、過体重、および関連する疾患：世界中で肥満人口は1975年以来3倍近くに増加し、すべての地域の成人と子供の間でその割合が上昇し続けています⁽⁶⁾。2017年には、食事の要因が世界中で1,100万人の死亡を引き起こし、2型糖尿病、心血管疾患、高血圧、多くの癌などの多くの病気の原因となりました⁽⁷⁾。2016年には、20億人近くの成人（世界の成人人口の39%）が過体重で、そのうち6億5000万人が肥満でした⁽⁸⁾。小児肥満は「時限爆弾」になるため、特に懸念されます。肥満の状態にある子供と青年は、成人した時に肥満になる可能性が5倍高くなります。2016年には、5歳から19歳までの世界の子供と青年の3億4000万人が過体重または肥満でした⁽⁹⁾。2018年には、世界の5歳未満の子供のうち更に 4,000万人（5.9%）が過体重または肥満でした⁽¹⁰⁾。

低栄養、隠れた飢餓および関連する病気：2017年には推定8億2100万人（世界の約9人に1人）が栄養不足になり、2015年の7億8400万人から増加しました⁽¹¹⁾。20億人以上が微量栄養素欠乏症（いわゆる隠れた飢餓）に悩まされています。これらはさまざまな衰弱性疾患を引き起こし、致命的となる可能性があります⁽¹²⁾。2018年には、5歳未満の子供の22%近く（1億4900万人）が発育不全になり、4900万人の子供が消耗症の状態にありました⁽¹³⁾。Covid-19パンデミックの結果として極度の飢餓に直面している人々の数は、パンデミック以前の統計である1億3500万人から2億6500万人とほぼ2倍になると予測されています⁽¹⁴⁾。

乳幼児の栄養：母乳育児のレベルが低いなど、乳幼児の栄養が不足していると、小児期以降の健康状態が悪化します。世界的に、2018年には、生後6か月未満の乳児のわずか40%が母乳だけで育てられました⁽¹⁵⁾。生後6か月までの期間における母乳育児を100%に近いレベルに増やすことで、毎年82万人以上の5歳未満の子供たちの命を救い、生涯にわたってさまざまな病気から守ることができます⁽¹⁶⁾。

地球規模での社会的および経済的影響

食事に関連した疾患の割合が高い場合は、国の経済成長を損ない、医療予算の大きな割合を占め、すべての業種における労働者の生産性を低下させ、低所得者をはじめとした個人や家族に深刻な負担をかけます。OECD 52カ国全体を通して、2020年から2050年の間に過体重を原因とする治療費に医療予算の8.4%が費やされると予想され、雇用の減少と生産性の低下によるGDPの平均減少は3.3%と予測されます⁽¹⁷⁾。国の生産性および経済成長への影響という観点から見た低栄養がもたらす経済的コストは、一部の国ではGDPの2~3%と予想され、アフリカとアジア諸国では最高で11%のGDPへの影響が予想されています⁽¹⁸⁾。

国際的な政策による対応

国連は2016年から2025年を「国連 栄養のための行動の10年」として宣言しました。世界保健機関（WHO）は、不十分な食生活によって高い頻度で引き起こされる死亡や病気を減らすことを目標に、2025年までに2組のグローバル目標を設定しました。

1組目となる非感染性疾患（NCD）に関する一組目の目標では、栄養に焦点を当てた3つの目標が含まれます。(1)塩分摂取量を減らし、(2)血圧を下げ、(3)糖尿病と肥満の増加を食い止めることです。2組目では、(1)子供の発育阻害、(2)出産可能年齢の女性における鉄分不足による貧血、(3)低出生体重、(4)子供の過体重の比率をそれぞれ下げ、(5)生後6か月までの間での母乳育児のレベルを上げ、(6)子供の消耗症の比率を下げるという6つの目標を通じて、母体、乳児、幼児の栄養（MIYCN）を改善することに焦点を当てています。Global Nutrition Report 2018（2018年世界栄養報告書）作成時においては、これら9つの栄養目標すべてにおいて達成する見込みのある国はないと報告されています。

さらに、2016年に国連は17の持続可能な開発目標（SDGs）を採用しました。SDG2（飢餓をゼロに）とSDG3（すべての人に健康と福祉を）の2つの目標は特に食事と健康に関連していますが、図表1に示すように、食事と栄養の改善は他のSDGsの実現もサポートします。世界保健機関（WHO）、国際食品規格委員会（Codex Alimentarius）、食糧農業機関（FAO）、ユニセフ、およびその他の国際組織は、これらの目標の実現をサポートするためのフレームワーク、計画、条約、推奨事項、および基準を開発しました。

したがって、9つの栄養目標を達成し、2030年までにSDGsを実現するには、民間セクターを含むすべてのステークホルダーが協調的な行動をとる必要があります。

機関投資家の役割

食品・飲料の製造業者と小売業者は、世界中で何千万人もの人々を雇用し、多くの国のGDPに大きく貢献しています。2019年、パッケージ食品（農作物以外の包装販売される全ての食品）およびアルコール以外飲料水の世界全体のリテール業による売上高は約3兆米ドルに達しました⁽¹⁹⁾。そうした会社には、非上場企業、協同組合、株式市場に上場している企業など、所有形態が様々なものがあります。

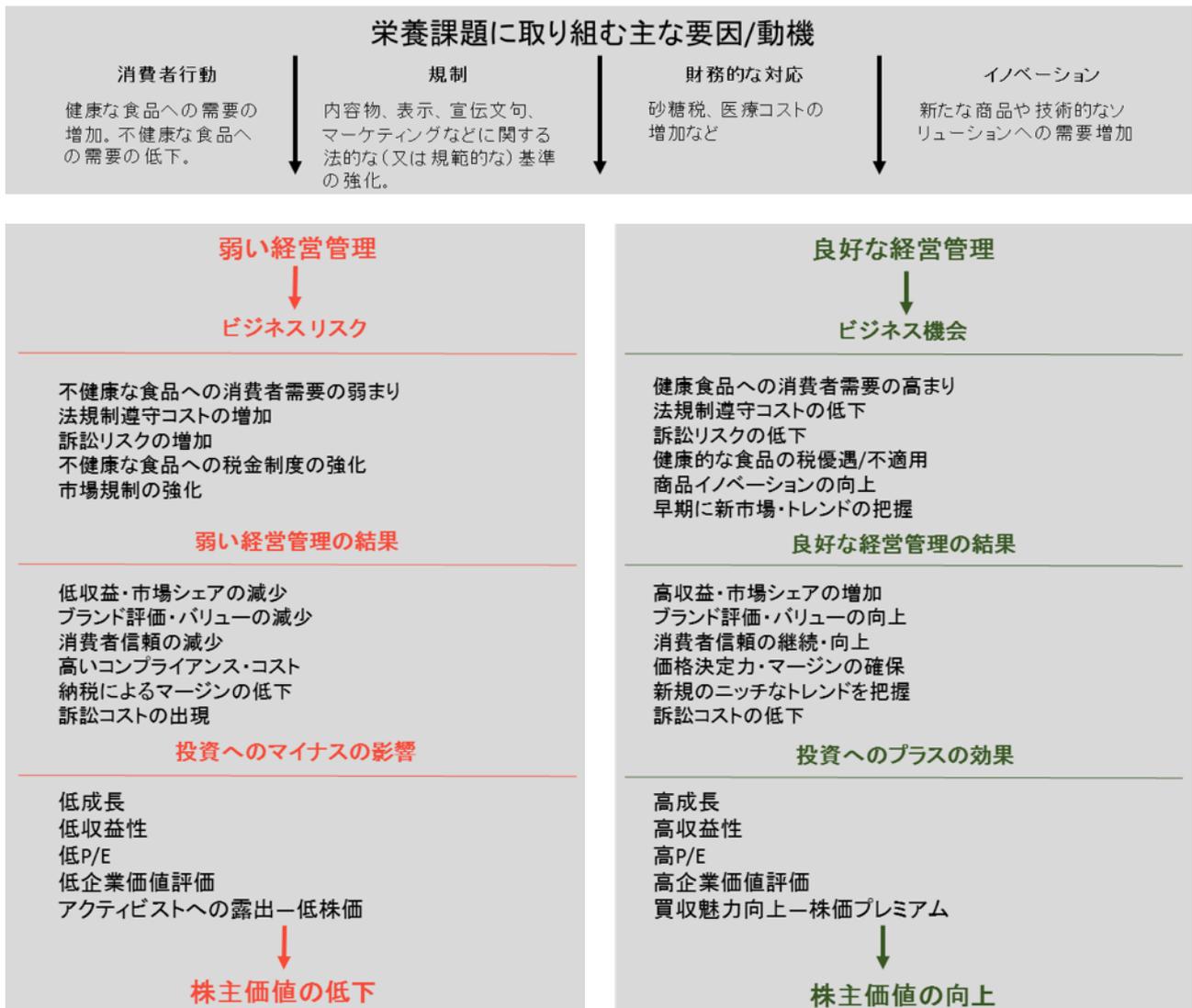
機関投資家は、世界的な栄養問題に取り組む上での主要なステークホルダーです。上場企業の株式や、あらゆる種類の会社が発行する債券を保有しています。多くの機関投資家はその規模から「ユニバーサルオーナー」として知られています。つまり、関連する業種に位置する多くの企業、および食生活によって労働者の健康が影響を受ける他のすべての業種における株式または債券を保有しています。また、ユニバーサルオーナーは 長期投資家となる傾向があります。

機関投資家が受益者（主に年金受益者および保険契約者、そして個人投資家）に提供する経済的リターンは、企業の財務実績に依存します。これらの利益は、企業が環境、社会、ガバナンスのリスク、機会、影響をどれだけうまく管理しているかに起因している部分があります。これらを最も効果的に管理している企業が長期的にはより良いリターンを提供するという証拠は明確であり、増え続けています⁽²⁰⁾。

機関投資家の大多数は、投資分析、エンゲージメント、議決権行使を実行する際に、投資対象による各課題におけるリスク、機会、影響へのエクスポージャーを把握し管理する、という、最終受益者への責任を認識しています。これは、国連責任投資原則（PRI）の2,300（当文書が発行された時点）の署名機関によって証明されています。これらの署名機関は、合わせて80兆米ドル以上を管理し、6つの原則を実施することを約束しています⁽²¹⁾。

また、食品・飲料セクターに属する会社が栄養関連のリスクと機会に取り組むことを奨励することは、機関投資家の利益になります。図表2は、これらのリスクと機会に対する企業のエクスポージャーと管理が、企業の財務実績と評価にどのように影響するかを示しています。健康的な製品に対する消費者の需要の高まり、食生活を改善するための規制と財政措置の強化およびイノベーションは、このセクターが取り組む主要な推進要因となります。食品・飲料会社がこれらの推進要因に関連するリスクを適切に管理していない場合、成長、収益性、企業価値、および投資尺度（PER、PBR等）の低下をもたらします。一方で適切な管理をした場合、主要な推進要因を活用し、株主価値を高めることにつながります。

図表2: ビジネスおよび投資家として栄養に取り組む主な要因/動機



食品・飲料セクターだけでなく、長期に渡る欠勤、肥満や慢性疾患に関連する生産性の低下、および関連する企業のヘルスケア費用を減らすために、すべてのセクターの企業が従業員の健康的な食事と活動を支援することを奨励することは、機関投資家の利益に資すると考えられます。個々人の行動ではコントロールし辛い体系的な食環境に関する課題を原因として、過体重に関連する一つ以上の慢性疾患を持つ成人は、翌年も雇用されている可能性が8%低くなります。また、仕事に就いている場合は、欠勤または生産性が低下する可能性が最大3.4%高くなると推計されています⁽²²⁾。

栄養を改善する必要性に関する国際的なコンセンサスが合意され、人権に関する国際枠組、SDGs、WHOや国際社会によって明確なターゲットが設定されています。これらを踏まえ、機関投資家は食品・飲料会社に対し、人々の健康的な食生活を支える役割を果たすように働きかけるという重要な責務があると言えます。

III. 投資家の要望

責任ある投資家として、また受益者に対する受託者責任を果たす上で、私たちは栄養に関して行動を起こすことによる投資家、企業および社会への相互利益があることを認識しています。

したがって、当社、あるいは当社に代わって投資を実施する運用会社において、この投資家要望の内容を用いて食品・飲料の製造業者および小売業者と直接エンゲージメントを行うことを約束します。当社のエンゲージメントに関する情報は、四半期報告書やスチュワードシップ報告書、エンゲージメントレポート、当社のWebサイト上、またはAccess to Nutrition Initiative (ATNI) が公開する署名機関の活動報告書のいずれかを通じて開示します。エンゲージメントから得られた洞察は、投資における分析と、場合によっては投資判断において活用します。

私たちのエンゲージメントの目的は、食品・飲料会社が世界的な栄養問題に関連するビジネスリスクと影響を最小限に抑え、投資家の利益と社会への還元を高めることです。具体的には、各社が製品の栄養価を改善し、適切なラベル付け、価格設定、流通、販売促進、および広告を通じて、顧客が健康的な製品を選択することを奨励することです。各社がすべての市場で一貫した高い国際基準を採用し、より厳しい国内基準が存在する場合はそれを遵守するように求めます。

私たちは食品・飲料の製造業者および小売業者に対し、次の行動を要望します:

1. ガバナンス

- 以下を含み、すべての市場において包括的な栄養戦略が確実に実施されるためのガバナンスおよび管理システムの導入:
 - 取締役会レベルおよび上級管理職レベルの両方で戦略の実施における責任の割り当て
 - CEOと上級管理職の報酬と、栄養戦略および目標達成との結びつけ
 - すべての市場および事業部門において、栄養戦略を実施するための一貫した手法を確立するためのプロセスの構築
 - 取締役会および上級管理職が進捗状況を監視およびレビューし、株主やステークホルダーに定期的かつ包括的に報告できるプロセスの構築

2. 戦略

- 包括的な栄養戦略を開発し、実施することへのコミットメント。また、すべての市場の消費者に手頃な価格でアクセス可能な、健康的な食品・飲料製品（健康的な製品）を提供する計画づくり
- 会社のビジネスモデルに該当する形で、以下の項目への具体的なコミットメントを含む戦略:
 - 独立した栄養素プロファイリングモデル（Health Star Ratingシステムまたは同等のものなど）を使用して、健康的な製品の定義の明確化
 - SMARTターゲット（具体的、測定可能、達成可能、関連性、明確な期限）を設定することにより、（価格設定、流通、販売促進、及びオンライン・実店舗リテール業における商品の配置に関する行動を通じて）健康的な製品の手頃な価格とアクセシビリティを向上
 - 当文書のAnnexに記載されている項目について、栄養に関する国際的に合意された推奨事項や基準を実現するSMART目標の設定。

さらに、母乳代替品（BMS）と、6か月から3歳までの子供に適したものとして販売されている補完的な食品・飲料を製造および販売している企業の場合:

- 出来るだけ早く、遅くとも2030年までに、母乳代用品のマーケティングに関する国際規準およびWHA69.9を含むそれに続く関連する世界保健総会の決議内容へのグローバルでの遵守の実現

3. ロビイング

各企業は、食事に関連した病気、公衆衛生および栄養に対処するための政府の措置を支援するためにのみロビー活動を行うというコミットメントを表明。また、より良い食生活を通じて健康を改善するように設計された地域、国、および地方の政策、規制、ガイドライン、基準を損なわないこと：

- 責任あるロビー活動の枠組みに定められた5つの原則と関連する管理慣行を採用。具体的には、正当性、透明性、一貫性、説明責任、および機会の5つの原則⁽²³⁾。

4. 透明性

- 正式な企業レポートでの公開:
 - ガバナンスの取り決め、栄養戦略、計画および関連するSMART目標、主要な栄養方針、および各社の「健康的な製品」を定義する明確な基準
 - 健康的な製品からの（増加する）収益に関する定量的データ
 - すべての事業部門、主要市場、およびビジネス全体における栄養戦略の実施に当たっての進捗状況の説明
 - 栄養戦略の実施がどのようにリスクを軽減し、株主価値に影響を与えているかの説明
 - 責任あるロビー活動フレームワークに則った、ロビー活動に関する情報
- さらに、ATNIを含め、企業の栄養に関するコミットメントの達成度合を確認するイニシアチブに積極的に参加

投資家要望の内容に賛同する投資家は、ATNIの活動内容への賛同を示しており、ATNIのウェブサイトに署名機関として記載されています。ATNIは、投資家の署名機関のエンゲージメント活動と企業分析をサポートしています。

詳細については、investor.support@accesstonutrition.orgまでお問い合わせください。

謝辞：この投資家要望は、Achmea、Boston Common Asset Management、Candriam、Calvert Research and Management、Federated Hermes、EOS、Impax / Pax World、NN Investment Partners、Robeco、Schrodersとのコンサルテーションの下、ATNIによって作成されました。和訳は岸上有沙氏、専門用語和訳は加藤知子氏にご協力頂きました。

Annex: 投資家要望の第2項目-「戦略」で使用されている栄養に関する国際的な目標、ターゲット、慣習、基準および推奨事項

企業の戦略においては、夫々のビジネスに応じて、次のトピックに関するSMART目標を含める必要があります。
(関連するSDGs 及びWHO目標の一覧、および栄養に関する用語の日英対応表は、次の表に続いて記載されています。)

| 国際的な目標やターゲット | 該当するビジネス分野 | 関連するターゲット/ガイダンス | 投資家からの要望 | 分類/ATNIメソッドロジ内での項目/トピック |
|---|------------|--|---|---|
| 1. 商品 | | | | |
| UN SDG 2&3 WHO NCD Targets 4, 6, 7 WHO MIYCN Target 4 | 栄養プロファイリング | Health Star Rating (または同等の独立したシステム) | 1.1 Health Star Rating栄養プロファイリングモデルまたは同等のモデルを採用し、販売されているすべてのパッケージ食品・飲料製品の栄養品質を評価およびトラッキング、「健康的な」製品を定義する。 | Manufacturers Category B (Products) B3: Healthy products (nutrient profiling system) Retailers Topic 2 Nutrient profiling system |
| UN SDG 2&3 WHO NCD Targets 4, 6, 7 WHO MIYCN Target 4 | 栄養成分配合 | 消費と栄養配合 (既存または今後)に関するWHO基準: • 塩 • トランス脂肪 • 添加糖 (added sugar) • 飽和脂肪 • 果物、野菜、ナッツ、豆類、全粒穀物 | 1.2 トランス脂肪、塩、遊離糖、および飽和脂肪の上限と、果物、野菜、ナッツ、マメ科植物、および全粒穀物の下限に関するWHOの目標とガイダンスに沿ってパッケージ製品を再配合する、そして更に/または全体的な製品ポートフォリオ/範囲での栄養プロファイルを向上させる。 | Manufacturers Category B (Products) B2: Product formulation Retailers Topic 3 Product formulation |
| UN SDG 2 WHO MIYCN Targets 1, 2 | 栄養成分配合 | Codex 食品規格CAC/GL 9-1987 | 1.3 Codex 規格CAC/GL 9-1987 (または各国の同等な規格のいずれか厳格な方) およびWHOとFAOのガイダンスに従って主食およびパッケージ食品栄養成分を強化すること、そして微量栄養素を自然に多く含む原料、または適切に強化された原料を使用することをコミットする。 1.4 各国の栄養強化イニシアチブへの参加および賛同する。 | Manufacturers Category B (Products) B2: Product formulation Retailers |

2. マーケティング

全ての会社

| | | | | |
|---|---------|--|--|--|
| UN SDG 2&3 WHO NCD Targets 4, 6, 7 WHO MIYCN Target 4 | マーケティング | 責任ある食品および飲料のマーケティングコミュニケーションのための国際商業会議所 (ICC) フレームワーク2012 (すべての消費者向け) 子供への食品およびアルコール以外の飲料のマーケティングに関するWHOの推奨事項 子供へのマーケティングコミュニケーションに関する国際食品飲料アライアンス (IFBA) のグローバルポリシー | 2.1 責任ある食品および飲料のマーケティングコミュニケーションのためのICCフレームワークに従い、すべての市場ですべての製品を販売する。 2.2 すべての市場において、子供への食品およびアルコール以外の飲料のマーケティングに関するWHOの推奨事項および関連するWHO/UNICEFガイダンスの内容に準ずる。更に/または子供へのマーケティングコミュニケーションに関するIFBAグローバルポリシーまたは地域・国家レベルでの同等の方針に賛同する。 | Category D (Marketing) D1 + D2: Marketing policy (all consumers) and D3 + D4: Marketing policy (children) Topic 5 Responsible marketing |
|---|---------|--|--|--|

母乳代用品 (BMS) および補完食品 (CF) を製造または販売する会社

| | | | | |
|--|--|-----------------------------------|---|---|
| UN SDG 2&3 WHO MIYCN Targets 1, 4, 5, 6 | BMS and complementary food (CF) marketing BMSおよび補完食品 (CF) マーケティング | 母乳代用品の国際マーケティングコードおよびそれに関連するWHA決議 | 2.3 2030年までに、すべての市場で母乳代用品の国際マーケティングコードおよび関連するWHA決議への完全に準拠することにコミットする。また、コミットメントがどのように実現されるかを示すための行動計画を公開する。 | Sub-ranking: BMS /CF marketing Topic 8 Infant and young child nutrition |
|--|--|-----------------------------------|---|---|

| 国際的な目標やターゲット | 該当するビジネス分野 | 関連するターゲット/ガイダンス | 投資家からの要望 | 分類/ATNIメソッドロージャー内のトピック |
|--------------|------------|-----------------|----------|------------------------|
|--------------|------------|-----------------|----------|------------------------|

| 3. 食品表示および強調表示 | | | | 製造会社 | リテール業者 |
|--|------|---|---|---|-------------------|
| UN SDG 2 & 3 WHO NCD Target 4, 6, 7 WHO MIYCN Target 1, 2, 4 | 食品表示 | Codex Standard CAC/GL 2-1985 (2017年改訂) Codex Standard CAC/GL 23-1997 (2013年改訂) | 3.1 Codex規格CAC/GL 2または同等の国内規格のいずれか厳格な方に準拠した形で、すべての市場のすべての製品の包装背面表示を実施する。 3.2 健康および栄養成分の主張は、製品がCodex規格CAC/GL 23または同等の国内規格のいずれか厳格な方に準拠している場合にのみ、製品に表示する。 | Category F (Labelling) F1: Product labelling F2: Use of health and nutrition claims | Topic 6 Labelling |

| 4. 人材管理 | | | | | |
|---|------------------|-------------------------|--|--|--|
| UN SDG 2 & 3 WHO MIYCN Target 5 | 職場での母乳育児中の母親の支援 | ILO母性保護条約2000 (No. 183) | 4.1母親が健康な妊娠を可能にする環境づくり、適切な産休の提供、産休後仕事に戻った際に授乳環境を提供するなどの支援を提示する、最低基準としてのILO母性保護条約183を採用、実施する。 | Category E (Lifestyle) E2: Supporting breastfeeding mothers at work | |
| UN SDG 2 & 3 WHO NCD Targets 4, 6, 7 WHO MIYCN Target 3 | 従業員の健康とウェルネスへの支援 | 現時点では存在しない | 4.2従業員が健康的な食生活を送るための環境づくりを実施する。 | Category E (Lifestyle) E1: Supporting employee health + wellness | |

| 5. サプライチェーン | | | | | |
|---|--------------|----------------------------|--|---|--|
| UN SDG 12 | 食品ロスと廃棄 | 世界資源研究所 食品ロスおよび廃棄物プロトコル | 5.1 食品ロスと廃棄物プロトコルまたは同様のガイダンスに従い、食品ロスと廃棄物を最小限に抑える。 | Category A (Governance) Within A2: Nutrition governance and management | |
| UN SDG 2 & 3 WHO NCD Target 4,6, 7 WHO MIYCN Target 1,2,3,4,5,6 | 職場における従業員の栄養 | 現時点では存在しない | 5.2 健康な食生活を送るための食を提供するサプライチェーンに従事する人々をサポートする対策を実施する。 | | |

栄養に関連したSDGs/WHO目標 対応一覧

持続可能な開発目標 (SDGs)

SDG目標2: 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する
SDG目標3: あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する
SDG目標12: 持続可能な消費と生産のパターンを確保する

世界保健機関 (WHO) による2025年までの非感染疾患に関する目標

(WHO NCD Target: 「NCDの予防と管理に関する国際戦略」より)
目標4: 食塩/ナトリウムの各国人口の平均摂取量に対して相対的に30%減少
目標6: 各国の状況に応じて、高血圧有病率を相対的に25%減少、または抑制
目標7: 糖尿病と肥満の上昇の抑止

世界保健機関 (WHO) による2025年までの母体、乳児、幼児の栄養 (MIYCN) 目標

目標1: 発育阻害 (Stunting): 五歳未満児の発育阻害の割合を40%削減
目標2: 貧血 (Anemia): 生殖可能年齢の女性の貧血を50%削減
目標3: 低体重 (Low birth weight): 出生時の低体重を30%削減
目標4: 過体重 (Childhood overweight): 体重過多の子どもの増やさない
目標5: 母乳育児 (Breast feeding): 生後6ヶ月間の完全母乳育児を50%以上に
目標6: 消耗症 (Wasting): 消耗症の割合を5%以下に減少・維持

| | |
|---|----------------------------|
| Acute hunger: | 極度の飢餓 |
| Added sugars: | 添加糖 |
| Food formulations: | 食品への栄養成分の配合 |
| maternal, infant and young child nutrition (MIYCN): | 母体、乳児、幼児の栄養 |
| Micronutrient deficiency: | 微量栄養素欠乏症（重要なビタミンおよびミネラル不足） |
| Non-communicable disease (NCD): | 非感染症疾患 |
| Obesity: | 肥満 |
| Overweight: | 過体重 |
| Stunting: | 発育阻害（年齢に対して低身長） |
| (Sustainable) food system: | （持続可能な）食糧システム |
| Undernutrition: | 低栄養 |
| Undernourished: | 栄養不足 |
| Underweight: | 低体重 |
| Wasting: | 消耗症（身長に対して低体重） |

巻末注

- 1 W. Willett et al., 'Food in the Anthropocene: the EAT–Lancet Commission on healthy diets from sustainable food systems' [人新世における食品：持続可能な食品システムからの健康的な食事に関するEAT-Lancet委員会] (2019) The Lancet 393(10170): 447–92 [https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736\(18\)31788-4/fulltext](https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736(18)31788-4/fulltext)
- 2 The World Bank, 'The World Bank and nutrition' [世界銀行と栄養] (2019) <https://www.worldbank.org/en/topic/nutrition/overview>
- 3 P. Pinstrup - Andersen, 'Making food systems nutrition sensitive: an economic policy perspective' [栄養に敏感なフードシステムの構築：経済政策の視点より] (2014) World Food Policy 1: 72–93 <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/abs/10.18278/wfp.1.1.5>
- 4 Global Nutrition Report, 'Appendix 3: Countries with significant multiple forms of malnutrition', Global Nutrition Report 2018 (2018) [付録3：複数の栄養不良の形態が顕著に存在する国、Global Nutrition Report 2018 (2018)] <https://globalnutritionreport.org/reports/global-nutrition-report-2018/appendix-3-countries-significant-multiple-forms-malnutrition/>
- 5 GBD 2017 Diet Collaborators, 'Health effects of dietary risks in 195 countries, 1990–2017: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2017' [1990～2017年の195か国における食事リスクの健康への影響：疾病による世界的な負荷に関する体系的な分析2017] (2019) The Lancet 393(10184): 1958–72 [https://www.thelancet.com/article/S0140-6736\(19\)30041-8/fulltext](https://www.thelancet.com/article/S0140-6736(19)30041-8/fulltext)
- 6 GBD 2017 Diet Collaborators, 'Health effects of dietary risks in 195 countries, 1990–2017: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2017' [同上] (2019) The Lancet 393(10184): 1958–72 [https://www.thelancet.com/article/S0140-6736\(19\)30041-8/fulltext](https://www.thelancet.com/article/S0140-6736(19)30041-8/fulltext)
- 7 GBD 2017 Diet Collaborators, 'Health effects of dietary risks in 195 countries, 1990–2017: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2017' [同上] (2019) The Lancet 393(10184): 1958–72 [https://www.thelancet.com/article/S0140-6736\(19\)30041-8/fulltext](https://www.thelancet.com/article/S0140-6736(19)30041-8/fulltext)
- 8 WHO, 'Obesity and overweight' [肥満と過体重] (2020) <https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/obesity-and-overweight>
- 9 M. Simmonds et al., 'Predicting adult obesity from childhood obesity: a systematic review and meta-analysis' [小児肥満から成人肥満を予測：系統的レビューとメタ分析] (2016) Obesity Reviews 17: 95–107 <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/abs/10.1111/obr.12334>
- 10 UNICEF / WHO / World Bank Group, 'Levels and trends in child malnutrition – joint child malnutrition estimates: key findings of the 2019 edition' (2019) [子供の栄養不良のレベルと傾向–子供の栄養不良推定に関するユニセフ/WHO/世銀による共同分析：2019年版の主な調査結果] <https://www.who.int/nutgrowthdb/jme-2019-key-findings.pdf>
- 11 UN SDGs Knowledge Platform, 'Sustainable Development Goal 2: end hunger, achieve food security and improved nutrition and promote sustainable agriculture' (undated) [UN SDGs Knowledge Platform、「持続可能な開発目標2：飢餓を終わらせ、食料安全保障と栄養改善を達成し、持続可能な農業を促進する」（日付なし）] <https://sustainabledevelopment.un.org/sdg2>
- 12 Global Nutrition Report, 'Chapter 3: Three issues in critical need of attention', Global Nutrition Report 2018 (2018) [第3章：対応が必要な3つの問題、Global Nutrition Report 2018] <https://globalnutritionreport.org/reports/global-nutrition-report-2018/three-issues-critical-need-attention/>

- 13 UNICEF / WHO / World Bank Group, 'Levels and trends in child malnutrition – joint child malnutrition estimates: key findings of the 2019 edition' (2019) [子供の栄養不良のレベルと傾向–子供の栄養不良推定に関するユニセフ/WHO/世銀による共同分析：2019年版の主な調査結果] <https://www.who.int/nutgrowthdb/jme-2019-key-findings.pdf>
- 14 Food Security Information Network (2020), 'Global Report on Food Crises: Joint Analysis for Better Decisions' [食糧危機に関するグローバル報告書：より良い意思決定のための共同分析] https://docs.wfp.org/api/documents/WFP-0000114546/download/?_ga=2.83067862.1523509580.1591868389-1603361708.1591868389
- 15 WHO, 'Breastfeeding' [母乳育児] (2018) <https://www.who.int/news-room/facts-in-pictures/detail/breastfeeding>
- 16 C. Victora et al., 'Breastfeeding in the 21st century: epidemiology, mechanisms and lifelong effect' [21世紀における母乳育児：疫学、メカニズムと生涯にわたる影響] (2016) *The Lancet* 387(10017): 475–90 [https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736\(15\)01024-7/fulltext](https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736(15)01024-7/fulltext)
- 17 OECD, *The Heavy Burden of Obesity: The Economics of Prevention* [肥満により大きな負担：予防経済] (2019, OECD Publishing, Paris) <https://doi.org/10.1787/67450d67-en>.
- 18 The World Bank, 'The World Bank and nutrition' [世界銀行と栄養] (2019) <https://www.worldbank.org/en/topic/nutrition/overview>
- 19 Euromonitor International *Packaged Food & Non-Alcoholic Beverages* [ユーロモニター：国際的なパッケージ食品とアルコール以外の飲料水編] Edition 2020
- 20 G. Friede, T. Busch and A. Bassen, 'ESG and financial performance: aggregated evidence from more than 2000 empirical studies' [ESGと財務パフォーマンス：2,000以上の実証研究から集積された証拠] (2015) *Journal of Sustainable Finance & Investment* 5(4): 210–33 <https://www.tandfonline.com/doi/full/10.1080/20430795.2015.1118917>
- 21 PRI, 'About the PRI' [PRIについて] (undated) <https://www.unpri.org/pri>
- 22 OECD, *The Heavy Burden of Obesity: The Economics of Prevention* [肥満による大きな負担：予防経済] (2019, OECD Publishing, Paris) <https://doi.org/10.1787/67450d67-en>.
- 23 www.responsible-lobbying.org

注)[]内は各出典題名の参考和訳。

原文発行：2020年6月 Copyright @ Access to Nutrition Initiative